岩手大学人文社会科学部同窓会「七友会」2025年度評議員会　概要報告

１　日　時　2025年６月14日(土)　14時～15時30分
２　場　所　エスポワールいわて３階　特別ホール
３　出席者　27名
４　内　容
進行：白根徹理事
(1)　開会　相澤文恵副会長

(2)　会長あいさつ　長澤秀則会長

昨年度の評議員会では、評議員会・理事会・事務局体制のあり方、支部のあり方、女性役員の登用等についてご意見をいただいた。

会長就任後、他学部の情報を収集するなどして、課題を整理したので、今回の重点取組として皆様へ提案させていただきたい。

まずは、2025年の基本方針を**多世代参加型の「サステナブルな七友会」**として提案したい。これまで１期生を中心に、会員間の交流や母校の発展に大きく貢献いただいたが、その実績を基に更に進化・発展させていきたい。重点取組として**「情報提供の充実」「支部活動の活性化」「多世代参加型の魅力ある活動の検討」「事務局体制・役員体制の検討」「人社50周年、岩手大学80周年記念事業の支援」**の５つを提案させていただくので、忌憚のないご意見を頂戴したい。

(3)　議事　会則第９条により議長は長澤会長。**２議案のうち第２号議案については、修正を加えた上で承認された。**

議案説明：高橋享孝副会長

①　**第１号議案**　2024年度事業報告、会計決算報告

・第29回岩手大学同窓会連合理事会（５月23日）、第75回岩手大学開学記念行事（６月１日）遠藤会長ほか出席
・評議員会(６月８日　岩手県公会堂)
　役員改選含む各議案について承認
・第30回岩手大学同窓会連合会理事会（６月13日）
　岩手大学同窓会連合女性支部の登録
・岩手大学創立80周年記念事業推進本部　長澤会長　顧問就任
・岩手大学教育学部同窓会北桐会創立70周年記念式典（７月６日）
　長澤会長出席
・岩手大学同窓会トークカフェin東京（７月28日）
　吉田副会長代理出席
・岩手大学ホームカミングデイ・第１回同窓経営者の会
　長澤会長ほか出席
・岩手大学同窓会連合会報2025（第16号）発行

・第32回岩手大学同窓会連合会理事会（２月７日）
長澤会長ほか出席
・七友会だより（第54号）発行（３月10日）

・一般会計決算額：収入5,976,245円－支出3,301,803円＝差引残額2,674,442円は2025年度に繰り越す。
・特別会計決算額：収入支出とも43,200,736円

監査報告：中野玲子監査員（正しく会計処理されている旨、報告。）

【質疑】
・特別会計積立金100万円の未執行の理由は。
→事務局体制が変更したこともあり、認識不足、大学事務との連携　不足により執行できなかったもの。卒業記念品贈呈費10万円についても同様。今後、一般会計の収支を見ながら、可能な限り特別会計への積立を行っていきたい。
・岩手大学同窓会連合女性支部の登録とあるが、これは全学部共通の女性支部ということか。
→お見込のとおり。
・岩手大学同窓会連合岩手銀行支部の登録とあるが、これも同様か。また、会員数の規模は。
→お見込のとおり。正確な規模は把握していないが100名超。
・卒業記念品積立の主旨は。
→卒業各期毎に何か学部に残すという主旨で始めたもの。１期がヤマボウシを贈呈したが、それ以降、10万円の積立を機械的に継続してきた。20周年時には、中庭整備に合わせた植樹が候補となったこともあったが、実現せず今に至るもの。
・会報に掲載された2024年決算額の一部に誤植があった。
→発行後に認識したもの。後日、訂正したい。
・１.事業費　8）同窓会設立40周年記念事業費の項目が表示されていない。
→本来削除すべき項目。9）諸費を8）に詰める。
・承認済みの2024年度予算ではあるが、確認したい。一般会計から特別会計への積立金を見ると、卒業記念品贈呈費10万円と特別積立金100万円で110万円しかないが、特別会計収入の部では新規積立金210万円とあり、この差は如何に。
→予算案策定の当初段階では、上記に加え、同窓会設立50周年記念積立100万円を検討していたが、最終的にこの100万円は予算化しなかったもの。しかし、特別会計側ではこの100万円を減額せずに、新規積立金210万円としたため、会計間に不整合が生じたもの。

・会計監査で報告すべき事項である。
・会報54号に掲載されている2024年度予算と今回議案の2024年度予算に差異がある。
→会報の予算が誤っていたもの。

② **第２号議案　2025年度事業計画(案)、会計予算(案)**

・七友会だより　年１回
・基本方針：多世代参加型の「サステナブルな七友会」を目指す。
【重点取組】
１　情報提供の充実
会報発行、ホームページ・SNSの充実、会員名簿の整理
２　支部活動の活性化
八戸支部の結成支援、関東・仙台支部のリスタート
３　多世代参加型の魅力ある活動の検討
多くの世代が参加したくなる、持続可能な活動内容
４　事務局体制・役員体制の検討
専従事務職員の採用検討、卒業年次ごとの評議員就任
５　人社50周年（2027年）、岩手大学80周年（2029年）記念事業の支援
アーカイブ作成事業、中央食堂整備事業に係る周知と支援

・評議員会は盛岡開催
・「卒業生・修了生と学長との懇談会」と「トークカフェin仙台」の合同開催に合わせ予算配分
・大学創設80周年寄附金要請に対応するため、特別会計特別積立金に50万円積立
・同窓会設立50周年記念積立に100万円積立

・一般会計予算額：収入支出とも6,495,000円(前年度比+522,000円)
・特別会計予算額：収入支出とも43,805,000円

【質疑】

・重点取組４に専従事務局員の採用とあるが、以前から課題となっていた事項。今後、予定される周年事業に向けては、特に2026年の業務量増大が予想される。最大規模の農学部と単純比較は難しいかもしれないが、他学部の実態等を把握しているか。
→教育学部では、事務局員を週２日・数時間で任用していると聞く。
他学部の状況収集をしつつ、通常時の業務量バランスと合わせ検討していきたい。
・卒業記念積立だが、先ほど、令和６年度の10万円を積み漏らしてい

たという説明があった。各期毎に10万円を積んできた経緯からすると、令和７年度には、通常分10万円＋漏れ分10万円＝20万円とすべきでは。
→卒業記念積立金総額が477万円ほどになっており、喫緊の事業計画も予定していないことから例年どおりの10万円として計上したもの。先ほどの質疑で積立に関する経緯、歴史を把握したところであり、評議員のご意見をお諮りしたい。
⇒一般会計 支出の部「１-事業費 ３-卒業記念碑贈呈費 100,000円」を10万円増額し200,000円に、「８-予備費 645,000円」を10万円減額し545,000円に、「総額」を6,495,000円のままとすることで承認。

その他

【意見】

・かつて25、35周年等区切りのタイミングで関東支部の活動を行っていた。
→関東支部に関しては、何らかのアクションを起こしたいと考えている

【岩手大学基金室総務広報課　濱田専門員からの情報提供】

・岩手大学創立80周年記念事業、岩手大学同窓会トークカフェin仙台について周知案内。
・中央食堂整備プロジェクトへ七友会として寄附することの提案等があった。

(4)　閉会　相澤文恵副会長

評議員会終了後、懇談会を16時からエスポワールいわて３階いわての間で行い、24人の参加があった。**丸山仁学部長**にも御出席いただき、盛会裏に終了した。